

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.44)

2013. 5. 5

もくじ

1. 3 月度 Abies ボランティア活動
総会後の演習林を歩こうの下見
2. 3 月度 Abies ボランティア活動
平成 25 年度総会後の演習林を歩こう
3. 4 月度 Abies ボランティア活動
「野鳥の巣箱をかけよう！」巣箱観察会
4. 4 月度 Abies ボランティア活動
森林インストラクター会との交流研修会
5. 今後の Abies ボランティア活動予定

3 月度 Abies ボランティア活動

総会後の演習林を歩こうの下見

岩崎寿一

3 月初めの平成 25 年 3 月 2 日（土）、清澄はまだ寒かった。

中原車、岩崎車で坂本駐車場へ行き、中原車を置いて清澄へ引き返した。

予定通り 10 時に清澄宿舎を中原、長谷川、米倉、岩崎香、寿（敬称略）の 5 名で出発。

一杯水林道を向峯歩道入り口に向かって進むと桜ヶ尾歩道入り口の少し先の所に、ちょうど咲き始めたスハマソウに出会う。ヤマドリソウ、タチツボスミレも咲いていた。

出発して 1 時間、向峯歩道入り口に到着。歩道に入って少し行くと、2 カ所ほど道が崩れていて滑りやすい所があった。中原さん持参のロープを張りなんとか歩けるようになった。

向峯歩道はモミ、ツガやマテバシイ、スダジイの巨木が生い茂り素敵な道だった。タイミンタチバナが多く見られ、コショウノキはまだ蕾の状態だった。

烏帽子山の脇の風の当たらない所で昼食を取る。しばらく行くと岩肌が露出したところを通過しなければならない場所があり、砂岩の岩肌に足をかける溝を刻むため中原さんがタガネを使い岩を削った。十分ではなかったが何とか靴のかかりができた。樟林歩道に入り、約 110 年生のクスノキの林を抜けて、炭焼き跡に出た。本沢林道までは近い。コショウノキはちょうど花開いていた。稚児滝を見て、坂本の

駐車場へ。

清澄 1時間 W0 70分 烏帽子山 30分(昼食) - 50分 硯石分岐 25分 本沢林道 35分
坂本駐車場 10分 清澄

15時、予定通り清澄宿舎に帰着、話し合いの結果安全なルートであることを確認し、このルートに決める事とした。

3 月度 Abies ボランティア活動 平成25年度総会後の演習林を歩こう

田生健一

日時 平成25年3月17日(日) 9時30分 清澄宿舎出発

参加者は、昨夜清澄宿舎に宿泊した中原、長谷川、中山、岩崎夫妻、田生の6名と、本日合流の米倉、鈴木、伊藤、吉田の4名、合計10名(敬称略)

本日の予定は、

清澄宿舎 一杯水林道 (W0) 向峯歩道入口 (W17) 烏帽子山 硯石 (W33)
(昼食) 樟林歩道入口 本沢林道 (T12) ゲート (T0) 坂本駐車場 清澄
宿舎

清澄宿舎を9時に出発、14:20に戻る予定です。

予定よりも30分ほど遅れて清澄宿舎を出発、清澄寺を右手に見ながら坂を登ると直ぐにゲートがあり、そこから先が一杯水林道、あじさい寺で有名な麻綿原に通じる関東ふれあいの道の一部でもあり、整備された林道です。

その南向きの斜面には、スハマソウ、ヤマドリソウなどの可憐な花が群生している場所、脇の歩道に入ってモロコシソウを探しに行ったらシュスランが群生している場所も見つかりました。観察や写真撮影に多くの時間を掛けて歩きました。

途中、ネットで囲い管理している菖蒲沢の菖蒲復元実験池の様子を見てから、10:50 向峯歩道の入口で初めての休憩を取りましたが、そこで苔むした古い切り株の上に遅く発芽し根を張り始めた実生の芽を発見!

そしてここからは千葉演習林特有のモミ、ツガ、シイ、カシの巨木を多数観る事が出来、標高300mに満たない尾根筋でこれらの巨木が辛うじて残っている所を歩くのはとても貴重な体験です。



スハマソウ



復元しつつある菖蒲沢のショウブ

岩を抱くように逞しく根を張る様子、倒木更新の結果で根上がりの状態になったもの等々、その姿からは果敢にチャレンジする勇気と知恵までも感じさせてくれるような気がします。

当初の予定は W33 の硯石付近でしたが、W17 の烏帽子山で 12 時となり昼食休憩しました。宿舎で用意して下さったお弁当をほお張りながら新鮮な空気と共に美味しく頂きました。

12 : 35 に出発、30 分ほど歩くと少々状況の悪い斜面もありましたが、下見の段階で足場を作っており、安全に通過することが出来ました。



本沢林道沿いの滝

その後、W33 硯石を観てから約 110 年生の立派なクスノキを南側に観ることが出来る樟林歩道に入り、かつては大事なエネルギー源であったということで興味深い炭焼き窯の跡、二タ間川沿いの本沢林道に降りると二タ間川の清流、小さな滝、運が良ければオシドリが観られるダム脇を歩き下りました。

実のところ 2 月は風邪ひきで毎週土日に寝込んでおり少し体力的な不安がありました。やはり久しぶりの山歩きで最後は太ももが痛くなりました。

が、しかし、毎度のことですが、しっかりとした事前下見とその都度の安全対策を施したルート設定がされている安心感もあり、最後まで楽しく安全に存分に演習林を堪能することが出来ました。

4 月度 Abies ボランティア活動

「野鳥の巣箱をかけよう！」巣箱観察会

恵 京子



マルバチシャノキにかけられた巣箱に営巣し、卵がひとつありました。巣箱観察始めてから初の巣が作られた巣箱だったので、皆で覗きこんで喜びました。

平成 25 年 4 月 6 日(土) 爆弾低気圧の影響で、荒天が心配されたものの、午前中なんとか雨にも降られず、無事巣箱観察会を終えることができました。

参加者は、鴨川市職員 3 名、演習林職員 2 名、巣箱作りで参加された親子と、ボランティア会から石松さんご夫妻と恵の 3 人でした。

昨年 11 月に作り、かけた巣箱の中を観察するのを参加者全員が楽しみに待ち望んでいたのではないのでしょうか？

鴨川市交流事業担当の生涯学習課の川名さんのご挨拶、続いて演習林担当職員の阿達さんから、巣箱の観察についてのお話と注意事項がありました。

巣穴の大きさから 2 種の野鳥(シジュウカラと

ヤマガラ)のためのものであること、どんな鳥が入っているか確認しよう。

巣箱観察のタイミングとして、野鳥の第一回目のペアリング後の4月、もし4月に巣箱が使われていなかったら、5月以降にもう一度チャンスがあるとのこと。

観察する時に気を付けることは、巣箱の中に、まれに蜂の巣が作られていることがあったり、蛇(アオダイショウやシマヘビ)が野鳥を狙って中にいることがあり、開けた時に攻撃(ヤマカガシやマムシ)をされ噛まれる事があるので注意(7月~9月頃)、巣箱を開けるときは、少し開け覗いて、危険がないか確かめること、また、親鳥が入って卵を温めていたら、親鳥を驚かさないうちに閉めること。

お話を聞き、自分が今迄あまりにも不用意に巣箱を開けていたことに反省をしたと同時に、もしもそうだったらと想像してみたりもしました。

親鳥が、覗かれたことで、巣箱を放棄することもあるそうで、もしそうなったら、本当に、親鳥に申し訳ないと思いました。

他に注意点として家の庭以外に付ける時は、許可を取ること、巣箱を続けて使いたい時は、8月以降、中を掃除して清潔にしておくこと等のお話もありました。

阿達さんのお話のあと、双眼鏡を持ち、外に出て、巣箱の観察会です。この日は小鳥の鳴き声(さえずり)がたくさん聞かれ、キセキレイの姿も観察できました。

清澄作業所周りにかけた20個の巣箱を一つずつ、持ち主の親子が開けて観察。

巣作りが行われ卵が産まれていた巣箱は二つ、使用予約らしき、一つまみの巣材の苔が入った巣箱が数個、今年は寒さが続いたからか、巣が作られている巣箱が少なかったとのことでした。

稀なことで、巣箱に野鳥のフンがされているのがありました。どうしたことなのか阿達さんの説明によると、嵐の日があり、巣箱に鳥が避難して中で嵐が収まるまで暮らしていたのではないかとのことでした。こんな利用もあるんですね。

巣作りが行われたのは二つ、作業所脇のマルバチシヤノキにかけられた巣箱には卵が1個、ログハウス脇の甘夏柑の木にかけられた巣箱には5個の卵が産まれていました。

阿達さんの説明によると産座に一日一個を産卵するたびに白い動物の綿毛で覆うとのこと、巣材を確保し嘴で運ぶ労力は、大変なことなんですね。

また、シジュウカラやヤマガラは、普段は木の実が主食で子育てには、高蛋白な幼虫を与えるとのこと、



宿舎前の巣箱には、フンがたくさん、どうしてフンがあるのか、阿達さんの推察にうなずきました。なるほど・・・



巣箱観察会最後の巣箱に何と5つも卵が・・・巣箱をかけた女の子はとても嬉しそうでした。

これは、植物の葉を食べるイモムシを餌として大量に雛に与えるために虫の大発生がおさえられ、木の
実を食べる野鳥がフンをすることで、動けない植物の種まきをしてきているとのこと。植物を育て、
森を作るのに野鳥も一役買っているんですね。

観察会に営巣されていなかった巣箱にも次には巣が作られ、雛が生まれますように、参加者皆が願っ
ているに違いありません。

巣箱は清澄作業所に行けばいつでも観察でき、巣立ちの季節のあと、持ち主に返還されるそうです。
巣箱作りに続いて、巣箱観察会に参加して、ますます野鳥が身近に感じられ好きになりました。

4 月度 Abies ボランティア活動 森林インストラクター会との交流研修会

中原 紀代治

平成 25 年 4 月 13 日(土) 亀山やすら
ぎ館駐車場に集合 23 名、主催者の挨拶
草川原の駐車場に移動し、車 5 台に分乗
し黒滝ゲート内に駐車して観察開始。

黒滝周辺では、ミヤマハコベ、アケビ、
シコクハタザオ、ツルカノコソウ、ヒメウ
ツギ、タニギキョウ、ヤマドリソウ、ウワ
ミズザクラの花が咲いていた。

猪ノ川から郷台苗畑まで観察しながら
歩く。ウワミズザクラの花、モミジ類の芽
吹きと花ウリカエデ、ヤマコウバシ、コク
サギの雌花やイタヤカエデの花は初めて
観ました。ツクシショウジョウバカマは、
花が終わりでしたがサツマイナモリの白い
花がきれいでした。

郷台で昼食の後に、苗畑・竹の実生から
の生長の様子、相ノ沢のスギ見本林の見学、
牛蒡沢の見事なスギの観察後に、黒滝まで
ピストンして車で清澄宿舎へ移動しまし
た。

3 時 40 分から當山先生の東大演習林の
講義、千葉県森林インストラクター会の寺
嶋さんの地層学日本列島の出来た様子や



サツマイナモリの白い花



當山先生による講義「千葉演習林の概要と
林業業務・人工林系の研究について」

房総半島地形の変化は、初めて聞きました。

夜は夕方から参加者と合わせて 29 名で食事と懇親会がにぎやかに行われた。神奈川からの参加者、Abies、森林インストラクター新人の自己紹介などがメインでした。

4月14日(日)、7時～8時清澄寺の朝の散歩、千年杉、左甚五郎の鎮火牛の一刀彫や樟の大木に初めての方は、興味津々の様でした。8時から食事の後に坂本まで車を回した。

9時からハイキング出発、一杯水林道の植物を観察しながら歩く。花や木のある場所で足が止まりゆっくり歩き、ヤマドリソウ、バリバリノキ、スマレ、途中でモロコシソウ、シュスランなど観て、菖蒲沢のショウブの育ちなど観察した。10時30分向峯歩道入口出発、モミ、ツガ、アカガシ、スダジイ、マテバシイの巨木、珍しいタイミンチバナ、カゴノキが観られた。中でも岩上に立つモミのつながりは何回見ても不思議に思う。

樟林では、急斜面に良く植林した昔の人は凄い、不思議なヌタ場、炭焼き場跡を見て、本沢林道へ下り、滝を見学して、イワタバコやシダ類の斜面を見ながらゴールの駐車場へ事故も無く最高の交流会でした。



尾根沿いの向峯歩道を歩く

今後の Abies ボランティア活動予定

< 千葉演習林春の研修会 >

集 合 5月21日(火) 12時45分

解 散 同 日 16時30分頃

内 容 交通安全講習会 および 学会・各種研修会・奨励研究などの報告(紹介)

詳しくは別途お知らせした内容をご覧ください。

=====

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.43

〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 東京大学千葉演習林

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321